

一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 11月 26日
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 6番 本間 雄次郎

質問事項1 三島駅南口東街区再開発事業

具体的な内容

まさに青天井。私は何度も申しているが、やはり「もうどうにも止まらない」この再開発事業。

ここにきてまたまた予算増額。当初209億円が今や287億円となった総事業費。しかし、着工もされ、もう止まるわけにもいかず、業者は税金をあてにし続ける。

「にぎわいのために」「市民の皆さまの30年越しの悲願」と絶叫していた市長。本当の目的は市長だけが知るわけだが、いずれにせよ市民の大切な税金が、無限に投入され続けるこの再開発事業を市長は「止めるなら私を殺してからにして」と言っていたのも決して忘れてはならない。市長が市民の税金をいくら使ってでも決死の覚悟でこの再開発事業を遂行しなければならない理由はなんなのであろう。

- 現在示されている市の補助金総額と駐車場負担金の総額は。また、それらが今後増える可能性は。
- 立体駐車場の建設費、維持費、管理費等の費用負担はいくらか。
- 補助金以外に考えられる三島市の負担増加は。
- 令和2年に土地開発公社から2,906坪の土地を約24億円(坪82万円)で取得しているが、今回の権利交換計画では該当部分2,091坪の土地を約11億円(坪53万円)で評価受託している。明らかに市の損が生じていると思うが、見解は。

質問事項2 新庁舎整備事業

具体的な内容

100億円の市役所建設を誰が望むだろう。80年後?人口はどうだろうか。今の3分の1ほどになっていることは誰もが想像できる。そのとき100億円で建てたお荷物を誰が喜ぶだろうか。

私も市民の方から「市民スペースが欲しい」「今の市役所は狭すぎる」「職員も働きづらそう」と伺うときはある。どれもお金をかけなければ大抵解決できる問題であろう。

しかし、すべての原資は「市民の税金」であることを忘れてないか。市民が望むから、これをやれば今の困りごとが解決するから...となんでもかんでも市民の税金を使って、解決してあげたような顔をする政治家に私はなりたくない。100億円で建てて、維持費に300億円かかる計画は場所の問題ではないことを私は改めて強く訴える。

- 再開発事業での立体駐車場に比べ、今回の北田町での建替え案で計画された立体駐車場はなぜ建設単価が3倍ほどで見積もらられているのか。おかしいと思わないか。
- 「市役所の場所を私は動かさない」と言った市長の発言の真意は。
- 新庁舎整備にかかる費用の基金充当額と起債額などの資金計画の内訳は。
- 80年後に残そうとしている100億円のハコモノを未来の市民に負担を背負わせる認識はあるか。